

科目名	インド文化					単位	2.0
担当教員	遠藤 康						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	5303

●授業のテーマ

民族交渉史と宗教史から見るインド文化

●到達目標

インドの文化が、多民族の交流と諸宗教の発展の中で形成されて来たことを、世界史的文脈の中で説明できるようにする。

●学習内容(授業概要)

インド文化は宗教を通じて周辺世界に大きな影響を与えてきた。しかしその文化は、古代から近代まで諸民族の世界史的な交流を通じて形成されたものであり、単純ではない多様な姿を持っている。インド文化の理解には、インドが形成されて来た歴史を知ることが不可欠となるのである。本講義ではインド文化の歴史を、民族の交渉を一つの軸に、宗教思想の展開をもう一つの軸としながら概観する。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. イントロダクション
2. インダス文明
3. アーリア人と古代インドの宗教文化
4. 都市の成立と宗教文化の変容
5. 統一国家とマウリヤ朝の文化
6. 異民族王朝と宗教文化
7. 仏教文化の変化
8. グプタ王朝の文化
9. ヒンドゥー教とは何か
10. イスラーム文化の到来
11. ムガル帝国と中世文化
12. 植民地インドの成立
13. 植民地支配と民族自覚
14. 多文化国家としての現代インド
15. まとめと復習

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：毎回の授業のテーマごとに予め下調べし基礎知識を得ておくこと。

事後学習：毎回の授業のポイントを必ず復習確認しておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点 30%、学期末試験 70%を基本として総合的に評価する。平常点は授業受講態度の評価も含んでいる。居眠り等は減点対象とする。

●テキスト（必携）

特定の出版物をテキストとして使用はしない。詳細は授業時に指示する。

●参考文献／その他

授業時に適宜指示する。

●履修上の注意

毎授業時に資料を配布し、ノートとして使用する予定である。ノートはしっかりと整理しておくこと。